



報道発表資料

2011年6月1日

フォーティネットジャパン株式会社

米国時間 2011 年 5 月 24 日に発表されたプレスリリースの抄訳です。

フォーティネット、米大手市場調査会社フロスト&サリバン社から
バーチャル セキュリティ部門の製品ライン戦略賞を受賞

大規模エンタープライズおよび通信事業者向けバーチャル セキュリティ
ソリューションの早期開発と継続的な発展を高く評価

Unified Threat Management/統合脅威管理 (以下、UTM) 市場のリーディングベンダー、Fortinet®(本社：米国カリフォルニア州サニーベール、日本法人：フォーティネットジャパン株式会社、東京都港区、以下、フォーティネット)は本日、同社がバーチャル セキュリティ製品部門の 2011 North American Product Line Strategy Award (2011 年北米製品ライン戦略賞) を受賞したことを発表しました。この賞は、製品ラインの幅広さと顧客価値でのインパクトなど、バーチャル セキュリティ製品市場におけるフォーティネットの功績に対する、名誉ある評価となるものです。

フロスト&サリバン社ネットワーク セキュリティ グループのリサーチ アナリストである Richard Martinez 氏は次のように述べています。「フォーティネットは需要の高いテクノロジーに関連する製品について高度な開発力を誇り、これを土台としてセキュリティ ベンダの最前線に躍り出ています。多くのセキュリティ ベンダがバーチャル環境で機能するセキュリティ テクノロジーの構築にいそしんでいますが、フォーティネットは既にバーチャルセキュリティ アプライアンスをリリースすることができており、セキュリティ市場や組織から肯定的な評価を勝ち得ています。フォーティネットはバーチャル セキュリティの分野に力を注ぐことで、リーダーかつ競争力のある企業になることができたのです。」

フォーティネットは、FortiGate 統合セキュリティ アプライアンス製品ラインの一部として仮想ドメイン (VDOM) テクノロジーを 2004 年に投入し、それ以降バーチャル アーキテクチャの提供を続けています。フロスト&サリバン社によると、フォーティネットはバーチャル セキュリティ テクノロジー分野において発展が望めるベンダであり、ネットワーク境界

とバーチャル レイヤの両方を保護するように設計された統合バーチャル アプライアンスを通じて、フルラインナップのコンテンツおよびネットワーク セキュリティを提供する完全なポートフォリオが既に構築されています。フォーティネットのテクノロジーを導入することで、サービスプロバイダは付加価値のあるフルレンジのバーチャル ネットワーク セキュリティ サービスを提供し、自社のオンデマンド プラットフォームを差別化することが可能となります。大規模エンタープライズにおいても、フォーティネット テクノロジーによって自社のプライベート クラウドやハイブリッド クラウド内のデータを保護できます。

FortiGate プラットフォームのバーチャル アーキテクチャに加えて、フォーティネットは FortiGate, FortiManager および FortiWeb バーチャル アプライアンスも提供しています。これらのバーチャルアプライアンスは物理的なアプライアンスと統合できるため、企業は物理とバーチャルの両方のフォームファクタを選択でき、両者を連携させることでセキュリティの盲点を無くし仮想化インフラ環境におけるセキュリティ制御能力の向上が実現します。こうした連携ソリューションによって、多くのカスタマが採用を進めているバーチャル環境への統合がより深まるため、企業は仮想化が進む環境の中で統合セキュリティの範囲をさらに広げることが可能になります。これらの製品は現在 VMware vSphere Hypervisor 上で動作します。

フォーティネットの Patrick Bedwell プロダクトマーケティング担当バイスプレジデントは次のように述べています。「今回の受賞はバーチャル環境のセキュリティを保護するという当社のビジョンを実証するものであり、当社にとって大変喜ばしいものです。2004 年に投入したバーチャル アーキテクチャを通じて、当社はバーチャル アプライアンス製品ラインで成果を収め続けることが可能となりました。大規模エンタープライズや通信事業者といった当社のクライアントに単一の管理コンソールからバーチャルと物理の両ネットワーク環境をセキュリティ保護できる幅広い統合ツールを提供することが、当社の最優先事項なのです。」

フロスト&サリバン社について

「グローブ・パートナーシップ・カンパニー」のスローガンを掲げるフロスト&サリバン社は、クライアントの成長を促進するとともに、クライアントが成長、革新、リーダーシップの各分野において最高のポジションを獲得できるよう支援しています。同社のグローブ・パートナーシップ・サービスは、クライアントの CEO とそのグローブ チームに統制のとれた調査とベストプラクティス モデルを提供することで、強力な成長戦略の策定、評価、遂行を推進します。フロスト&サリバン社は 50 年にわたる経験を活かし、6 大陸の 40 以上の事業所で Global 1000 選出の企業、新興企業、および投資機関とパートナーシップを結んでいます。同社のグローブ・パートナーシップについては、<http://www.frost.com> をご覧

ください。

フォーティネットについて (www.fortinet.co.jp)

フォーティネットは (NASDAQ: FTNT) ネットワーク セキュリティ アプライアンスのワールドワイド プロバイダであり、統合脅威管理 (UTM) のマーケット リーダーでもあります。フォーティネットの製品とサブスクリプション サービスは、ダイナミックなセキュリティ脅威に対抗する広範で高性能な統合プロテクション機能を提供しつつ、IT セキュリティ インフラの簡易化も実現します。フォーティネットの顧客には、米フォーチュン誌が選出する 2009 Fortune Global 100 の大部分を含む世界中の大規模企業、サービスプロバイダ、行政機関が名を連ねています。フォーティネットのフラグシップである FortiGate 製品は ASIC による高速なパフォーマンスを誇り、アプリケーションやネットワークの脅威から保護する多層セキュリティ機能が統合されています。フォーティネットの幅広い製品ラインは UTM にとどまらず、エンドポイントからデータベースやアプリケーションなどの境界やコアに至る大規模エンタープライズのセキュリティを保護します。フォーティネットは本社をカリフォルニア州サニーベールに構え、世界中にオフィスを展開しています。

Copyright© 2011 Fortinet, Inc. All rights reserved. ® と ™ のマークはいずれも、Fortinet, Inc.、その子会社および関連団体の米国における登録商標および未登録の商標であることを示します。フォーティネットの商標には、Fortinet、FortiGate、FortiGuard、FortiManager、FortiMail、FortiClient、FortiCare、FortiAnalyzer、FortiReporter、FortiOS、FortiASIC、FortiWiFi、FortiSwitch、FortiVoIP、FortiBIOS、FortiLog、FortiResponse、FortiCarrier、FortiScan、FortiAP、FortiDB、FortiWeb などがありますが、これだけにとどまりません。その他の商標は、各所有者に帰属します。フォーティネットは、サードパーティに帰する本書での声明や認可について中立的な立場で実証してはおらず、またフォーティネットはそのような声明を保証することはありません。本ニュースリリースには、不確実性や仮説を伴う前向きな内容が含まれている場合があります。不確実性が現実になったり、あるいは仮定が正しくないことが判明したりした場合、そうした前向きな声明や仮説で表明または暗示された内容とは実質的に結果が異なる場合があります。史実に関する声明を除くすべての声明は、前向きな声明であると判断されるべきものです。フォーティネットは、どの前向きな声明についても改正する義務を負わず、またこれらの前向きな声明を改正する方針もありません。